

製品名: FEN1 (7H8) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03524**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC/IF
反応性	人間、マウス、ラット、サル、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 43 kDa; Observed MW: 43 kDa

抗原情報

遺伝子名	FEN1
別名	FEN1; RAD2; Flap endonuclease 1; FEN-1; DNase IV; Flap structure-specific endonuclease 1; Maturation factor 1; MF1; hFEN-1
遺伝子 ID	2237
SwissProt ID	P39748
免疫原	ヒト FEN1 の合成ペプチド

背景

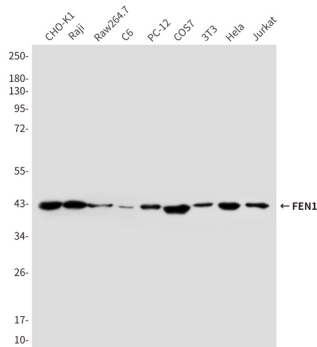
ゲノム安定化因子として作用し、フラップが構造的に平衡化して重複や欠失を引き起こすのを防ぎます。また、切断またはギャップ

のある二本鎖 DNA に対して 5'-3'エキソヌクレアーゼ活性を持ち、RNase H 活性も示します。rDNA の複製と修復、そしてミトコンドリア DNA の修復にも関与しています。

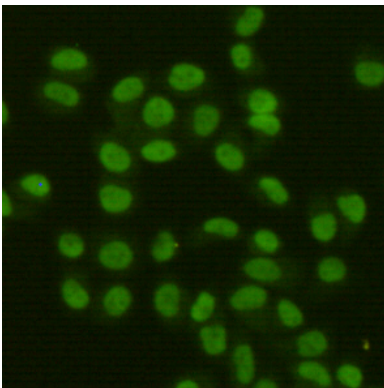
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



FEN1 抗体を使用した、HeLa、Jurkat、3T3、COS7、PC-12、C6、Raw264.7、Raji、および CHO-K1 溶解物中の FEN1 のウェスタンブロット分析。



FEN1 抗体を用いた HeLa 細胞の FEN1 (7H8) の免疫細胞化学分析。